

一般会計補正予算
(第9号)

歳入の主なものは、市税、国庫支出金などである。歳出の主なものは、総務費、民生費、土木費などである。

原案に対して、「篠津分署改修事業2420万円」を削除する修正案*が提出され、修正案否決・原案可決となった。

*市長提出議案の内容に対し、議員は必要に応じて修正案を添えた修正動議を提出できる。

問 看過できない不具合等がない中、ホームページ制作に外注費約2130万円を計上している。行財政改革で自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)を進めようとしているのに、外注だとその後の保守管理のコスト高も考えられる。急ぐ理由は。

答 現在の市公式ホームページは、運用を開始してから10年目を迎える。市の顔であるホームページをリニューアルすることにより、画面の見やすさや情報の得やすさなど、さらなる市民サービスの向上につながるとともに、市外に向けて本市の良好な都市イメージを印象付けるシティプロモーションの一助となる。

問 白岡消防署篠津分署の跡地利用につき、車庫部分を改修してトレーニング室とする当初の予定がなぜか変更され、当該部分の改修が取りやめとなった。しかも、それにより弾き出されたのは当該部分を使用予定のトレーニング室ではなく、当該部分の使用予定がない観光協会であった。この経緯は不自然で不透明であり、トレーニング室は他に用地を求めるべきではないか(民間活力や公有資産の有効活用の観点も含め)。

また、市の提案につき観光協会(執行機関・議決機関)の理解を得ていないようだが、市長は臨時総会を招集するのか。

答 当市の介護予防事業として中心的な事業であ

る「シニア元気アップ教室」は、JR宇都宮線の東側にある介護予防事業拠点施設「いきいきさぼーと」と、JR宇都宮線の西側にある篠津分署で実施することが望ましいと考えている。

また、観光協会事務局の場所は、改築費が高額となるのも理由の一つだが、市の観光事業を更に発展させるとともに、シティセールスにも積極的に取り組んでいきたいと考え、篠津分署ではなく市役所庁舎2階の商工観光課内を提案させていただいた。

原案賛成討論

本予算は、保健センター分館を白岡駅西口整備の代替地とするために、その機能を篠津分署に移すための改修費を含めたもので、早急に実施が望まれる。白岡駅西口整備のためにも必要である。

原案反対討論

千駄野の火災では消防車22台が出動したが、戸建4棟への延焼を喰い止められなかった。白岡の消防力の将来像を市民とともに描く前に篠津分署を全廃することには不安しかない。改修してしまってからでは遅い。藤井市長は独断での決定を一旦白紙に戻すべきだ。

修正案反対討論

篠津分署は、埼玉東部消防組合においてその廃止が決定されたものである。組合で消防防災科学センターに委託して適正配置である15署所が決定され、厳守すべき根本である。これによれば篠津分署を廃止しても消防力は落ちることなく市民の安全は守られる。

修正案賛成討論

篠津分署の統合先である白岡消防署は老朽化が進んでいる。白岡消防署の具体的な改修計画も立っていない中、拙速に統合を行うべきでない。また、分署の施設活用については関係団体からしっかり合意を得ることが必要である。



11月	19日	議会運営委員会
	25日	本会議(開会・議案説明)
	29日	本会議(一般質問)
	30日	本会議(一般質問)
12月	1日	本会議(一般質問)
	3日	議会運営委員会 本会議議案質疑

3日	議会報告会実行委員会
	議会広報常任委員会
7日	産業建設常任委員会
8日	総務常任委員会
9日	文教厚生常任委員会
15日	議会運営委員会
	本会議(議案採決・閉会)

22日	蓮田白岡衛生組合議会定例会	
	議会広報常任委員会	
11月	11日	議会運営委員会
	14日	議会広報常任委員会
18日	県議長の役員会	
	27日	議会全員協議会

※主なものを掲載しています。